

# 平成24年度 第11回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)1月26日(土)  
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 大原公民館 集会室
- 3 テーマ 大原地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者14名 傍聴者7名



大原公民館での集会の様子

## **5 市長あいさつ**

皆様、こんにちは。今日はお休みの中、市民と市長の対話集会「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。

私が市長に就任させていただき、約2年間が経ちました。就任させていただいた時は東日本大震災の後でした。震災以降の行政には、市民の皆様の安心安全を守ることが求められ、行政施策の基準になりました。昨年度の対話集会では、防災対策をテーマに市民の皆様とお話をさせていただきました。

今年度の対話集会は、地区自治会連合会単位で地域を回らせていただき、その地域のまちづくりに関する対話の機会を設けさせていただいています。地方分権の流れの中、地域の皆様の御意見が反映されるまちづくりが大切です。平塚市の各地域には豊富な歴史や文化があり、人材がいます。地域の皆様がまちづくりに関わっていただけることがその地域を輝かせ、地域の集合体である平塚市は更に発展すると信じています。そのためにも、私が地域の皆様のお声を直接聞かせていただき、行政施策に反映できるものは取り入れていきたいと考えます。

この大原地区での開催が今年度11回目の対話集会になります。具体的な施策など、この場で御返事できないこともあるかと思えます。その時には、事務局から担当課に御意見を伝え、回答をフィードバックさせていただきます。今日はざっくばらんなお話をお願いいたします。

## 6 主な対話集会の内容

### ① 自治会・地域の活動について

#### 【参加者】

自治会と行政は連絡を密にとるべきで、行政からのアドバイスはより良い地域をつくります。また、市の職員も地域に帰れば一人の住民です。自治会は、市の職員の積極的な地域活動への参加を期待しています。ぜひ、積極的に参加してほしいです。

また、大原地区だけでなく、平塚市全体においても、子ども会の数は減りました。将来の地域や平塚市のために、子ども会を存続させる取り組みが必要です。

#### 【市長】

職員は約2,200人います。御意見のとおり、地域に帰れば、地域の一員です。私も職員でしたが、PTAなどの活動にも参加しました。当時の上司からは、積極的な地域活動への参加の指導も受けました。地域活動への参加は、地域のお声を知る良い機会でもあります。職員には機会があるごとに、積極的な地域活動への参加を行うよう話しています。PTAや青少年指導、防犯などの活動に、職員と一緒に取り組んでいただけたら、本当にありがたいです。

また、子ども会の結成率は低くなりました。課題は役員などに関わる親の負担です。子ども会発展のために、青少年問題協議会では、地域の皆様が参加しやすい体制づくりや役員の負担を軽減する活動の検討も行っています。

#### 【参加者】

地域の行事では、大原学区が一つの区切りになることが多いです。学区による区切りは中原地区の一部と一緒にになります。しかし、福祉活動などにおいて、他の地区と一緒にすることには課題があります。地域の活動を円滑に進めるためには、同じ地区の住民同士で行うことが必要です。大原学区と大原地区の統一が望ましいと思います。

#### 【市長】

決め事には区切りがあります。しかし、災害時の避難場所などは命に関わることですので、指定された場所より近いところに逃げてください。同様に、福祉に関わる施設なども、より近く使い勝手の良いところを利用の方が効率的です。学区や自治会、福祉に関わる区切りに関しては、今後の課題として考えさせていただきたいと思います。

## ② 防災対策について

### 【参加者】

災害時の要援護者の方に対する支援について、地域に住む要援護者の方の情報を把握する方法や要援護者の方に負担をかけ過ぎない特別な避難場所の対策について聞きたい。

### 【市長】

災害時の高齢者の方や障がいのある方、外国籍の方への支援は課題です。ここで、自治体の防災対策の指針となる地域防災計画を改定しました。要援護者の方への支援を大きな柱として位置付けています。これまでも、災害時要援護者登録制度を進めてきました。しかし、個人情報の課題から、地域での要援護者の方に関する情報の把握は不十分です。今は要援護者の方に、災害時に支援が必要であることを、自ら発信していただいています。災害対応のために、横浜市は要援護者本人が申請を行わなくても、市からの通知に対して本人が拒否の意思表示をしない限り、平常時から地域に情報を提供することができる条例を考えています。民生委員の皆様からは、平塚市も必要があると言われていて、他市町の動向を注視しながら検討しています。

要援護者の方に御負担をかけ過ぎないための避難先については、ろう学校や盲学校、福祉施設と協定を結んでいます。要援護者の方にとって、指定の避難場所での御負担が大きい場合には、協定を結んだ学校や施設に受け入れをお願いする体制が進んでいます。

### 【参加者】

防災行政用無線について、住居の密閉性などの理由から、聞き取りにくい場所があります。防災行政用無線を補う、災害時の情報伝達の対策について聞きたい。

### 【市長】

防災行政用無線の聞き取りにくさについては、ほっとミーティングでどの地域に伺っても御指摘をいただきます。風向きや建物の密閉性が原因で聞き取りにくくなることがあります。定期的な点検による防災行政用無線の調整は行っていますが、全ての地域での解決には至りません。そこで、平成23年8月から、エリアメールやテレフォンガイド、ツイッターによる情報発信をはじめました。テレフォンガイドでは、0180-99-4956に電話を掛けていただければ、防災行政用無線にて放送した内容を確認できます。ツイッターでは、平塚市からの防災情報を発信しています。エリアメールは、平塚市内にある携

帯電話に緊急災害情報が飛び込んでくるシステムです。このような防災対策のための情報提供を、防災行政用無線の補完的な方法として、御利用いただきたいと考えます。

**【参加者】**

大原公園の近くには空き地があります。以前、市有地であれば、防災倉庫を設置してほしい、または自治会で設置したいと要望しました。行政からの回答は、保留地で利用方法は検討中のため、待つてほしいとのことでした。要望をして回答をいただいてから時間が経ちましたが、現在も他に利用される様子がないので、再度防災倉庫の設置を検討していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

**【市長】**

防災倉庫の設置については、自治会単位で御相談いただければありがたいと思います。御相談いただければ、防災危機管理課にて対応させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

今回御意見をいただきましたので、大原公園の近くにある空き地への防災倉庫の設置については、再度対話集会の事務局から担当課に確認をして回答させていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

本市としては、避難所に指定した市内小中学校等への防災倉庫の設置をすすめていて、平成24年度には、避難所に指定している大原小学校へも設置したところです。また、現在のところ、避難所以外の場所への防災倉庫の新設は考えていません。

なお、自治会として、防災倉庫を設置される場合、設置場所の確保をはじめ各自治会において対応していただいておりますが、防災倉庫の設置等の相談については、必要に応じて本市防災危機管理課まで御連絡くださるようお願いいたします。

（事務担当は防災危機管理課防災担当）

原則として、道路用地を他の目的のために使用することはできません。しかしながら、この土地は道路用地として今後使用する予定もないことから、関係課等と、この道路残地の活用方法について、現在検討中です。御理解をお願いいたします。

（事務担当は道路整備課道路用地担当）

本市は自治会に対して、地域住民の話し合いの場や地域活動の拠点となる自治会館の新築や増改築、補修等に対する助成を行っています。補助額は、工事費の2分の1以内の額で、防災倉庫の設置については最大500万円までとなっています。

なお、毎年、全自治会に補修等の計画について照会を行い、その意向に基づき予算化していますが、緊急を要する場合にも自治会の意向を伺って対応していますので、御相談くださるようお願いいたします。

(事務担当は協働推進課地域自治推進担当)

#### 【参加者】

大原東自治会の防災倉庫を総合公園北側、湯乃蔵ガーデンの南側にある駐輪場の一部に設置したいと相談しました。総合公園の敷地内のため、総合公園管理事務所からの了解があれば設置しても構わないとのことでした。そこで、昨年11月、総合公園管理事務所に御相談に伺ったところ、確認をして連絡をいただけることになっていましたが、未だ連絡がありません。地域住民の安全に関わることなので、再度確認をお願いします。

#### 【市長】

総合公園には、市有地と国から借りている土地があります。国の土地にものを建てることは難しいと思いますが、市有地には可能性があるかと思います。再度、総合公園管理事務所にはお話を伝え、回答させていただきたいと考えます。

#### 担当課回答 (集会後、次のとおり担当課に確認しました。)

総合公園の敷地の約半分は、国からの無償借地となっています。今回御要望のありました場所は無償借地内にあたることから、国(関東財務局)と協議を進めてまいりましたが、市以外の団体が防災倉庫を設置することは認められないとの回答がありました。

また、総合公園は都市公園法上建築面積等に基準があり、今後園内施設の改修を考慮しますと、防災倉庫の設置は難しいと考えていますので、御理解をお願いいたします。

(事務担当はみどり公園・水辺課総合公園担当)

### ③ 環境について

#### 【参加者】

ごみに関わる課題として、集積所のカラスによる被害が大きいです。また、この大原地区は車を利用した他の地域からの不法投棄や不法排出が問題です。他の地域からごみを持ち込ませない対策も必要です。

#### 【市長】

ほっとミーティングにおいて、各地域で御意見をいただく課題がごみ対策です。集積所のカラスによる被害は聞いています。ごみの出し方や集積所のネットの効果的な使い方なども考える必要があります。また、不法排出や不法投棄の被害もあります。環境業務課では不法排出や不法投棄への対応を行っていますので、被害を発見された時には御連絡くださるようお願いいたします。

また、これからは各自治体が単独でごみ処理を行う時代ではありません。そこで、大磯町、二宮町とごみ処理の協定を結びました。協定により、平塚市は可燃ごみ、粗大ごみ、資源物などの処理、大磯町はし尿、生ごみの処理、二宮町は剪定枝、資源物などの処理を受け持つ計画です。現在、大神地区に日量315トンの処理を行う焼却炉を建設中で、10月から稼働する予定です。市が建設を行い、民間が運営を行う予定です。日量315トンの焼却炉はできますが、安定的な運転のためには、今後も市民の皆様にごみの減量化や資源化への御協力をお願いする必要があります。平塚市のごみ対策を考える廃棄物対策審議会からは、減量化や資源化が進まずに日量315トンを超える場合には、他の自治体に有料で焼却をお願いすることになり、ごみ処理の一部有料化の必要があるとの答申が出ています。ごみを出す袋を買っていただく方法を考える必要が出てきます。市民の皆様にごみ処理への御負担をいただくことは大変心苦しいことです。今後も減量化や資源化への御協力をお願いいたします。

#### 【参加者】

駅前では、喫煙を禁止する条例があります。しかし、吸殻は落ちていて、喫煙しながら歩いている人とすれ違うこともあります。

#### 【市長】

駅前の路上喫煙を禁止する条例ができ、罰金刑もあります。定期的に指導員が歩き、注意喚起をしています。現実には、罰金刑を科したことはありません。JT（日本たばこ産業）にも協力していただき、MNビルの前には喫煙所を設けました。ある程度の効果はありましたが、御意見のとおり、全ての人が守ってはいません。今後は、具体的な罰金刑などの対策も必要になるかと考えます。

#### ④ 高齢者の支援について

##### 【参加者】

大原地区を対象とする松が丘地区町内福祉村までは距離があるため、平成18年から出先サロンとして、この大原公民館にふれあい広場おおはらを開きました。ふれあい交流活動や身近な生活支援活動を行っています。大原地区には地域情報局がないため、活動の内容などを掲載した新聞を発行して情報を発信しています。また、大原地区には大きな事業所がありません。福祉相談ができるような場所ができると良いと思います。

##### 【市長】

地域の皆様の活動を本当にありがたく思います。改めて御礼申し上げます。平塚市の高齢化率は約22パーセントで、今後も上がり続けます。もうすぐ、4人に1人が高齢者の時代を迎えます。高齢者福祉計画では、これからの見通しを立て、高齢者の方のサポートを計画的に進めています。

高齢者の方の支援を行う平塚市高齢者よろず相談センターがありますが、細かい地域に配置する必要があるという御意見はよく分かります。センターとは連携を図り、平塚市内全域に支援が及ぶように対策を行っています。今日御意見をいただきましたので、更にかみ細かい支援が必要であるという御意見は担当課に伝えさせていただきます。

##### 【参加者】

独居高齢者や高齢者夫婦の世帯の情報は民生委員などが把握していますが、急な体調不良までは対応できません。そこで、これからは本人から連絡できるような仕組みが必要になると思います。

##### 【市長】

このほっとミーティングの参加者の方からの御意見を参考にし、平成25年度に強化して行う対策があります。参加者の方から、独居高齢者の方が亡くなって数日後に発見されたというお話がありました。独居高齢者の方が多くなるため、行政による見守りも必要であるとの御意見でした。早速、平成25年度の予算の中に、独居高齢者の方が自分の安否や健康状態を連絡できるもの、具体的には発信機のようなものをお貸しする仕組みを考えています。

## ⑤ 交通安全について

### 【参加者】

自転車による危険が増えています。自転車は加害者になる可能性もあります。実際、危険な運転による高齢者の被害もあります。自転車の運転にも罰則が必要です。東京都では2回信号を無視すると、罰則を与えることを検討しているようです。

特に、中学生や高校生の自転車のマナーは悪いです。音楽を聞きながら、携帯電話を操作しながら運転する生徒もいます。行政は学校とともに、生徒の危険な自転車の運転への対策を考えてほしいです。例えば、具体的な講習や学校からの注意は効果があると思います。

### 【市長】

大原地区は学校が多い地域です。それに伴い、自転車のマナーの問題があります。公民館にも置いてある「市長への手紙」による御意見にも、多くの自転車のマナーや乗り方に関するものがあります。学校と連携し、定期的に自転車のマナーや乗り方を含めた交通安全に関する教育や指導を行っています。高校生についても、平塚警察署や交通安全協会などと協力しながら、マナーの啓発を行っています。しかし、自転車の危険な運転による高齢者の方などの事故があります。悲しいことですが、高校生が検挙されたこともありました。警察との連携を強化し、地域の皆様に危険が及ばないような指導の徹底を再度図りたいと考えます。何回も何回も、地道に指導や教育を行うことが必要です。

また、昨年、子どもの列に車が突っ込むという悲しい事故がありました。平塚市では、教育委員会の指示により、各学校の通学路の安全点検を実施しました。国からの調査にも、教育委員会では迅速な対応をしました。現在は、点検によって発見された危険な箇所の改善を進めています。子どもは平塚市の宝です。子どもの安心安全を守る具体的な対策を実施しています。

### 【参加者】

先日、高校生がバイクで凄まじい騒音を出していました。近所の方の通報で、すぐに警察の方が来て対応してくれました。日頃から、平塚市の警察の方は親切で助かります。新聞にも、平塚市の警察の親切な行為が載っていました。しかし、この大原地区には交番がありません。地域の中に交番があつて、色々な相談ができると安心して暮らせます。

### 【市長】

大原地区に近い交番は御殿と追分にあります。以前、他の地区の自治会から、

交番を設置してほしいというお話がありました。しかし、警察に確認したところ、交番は一定範囲内に1か所という基準があるそうです。警察も平塚市内の均等な安全対策のために、範囲の基準を設けて交番を設置しているようです。お話は市役所の安心安全の担当にもお伝えさせていただきます。

**【参加者】**

バス道路の歩道では、歩道の内側にガードレールやカーブミラー、標識が設置されているところがあります。歩きながらすれ違うことが難しく、車道に出て歩くこともあります。特に、通学路に指定されている道路では、交通量も多いため危険です。

**【市長】**

道路や歩道の整備について、地域の皆様に危険を与えるような場所ではできるだけ改修する必要があります。国道や県道の管轄は違いますが、平塚市が管轄する市道については、危険度が高いところから改修を進めていきたいと考えます。

**【参加者】**

平塚市は平らなまちで自転車の利用が非常に多いです。自転車や歩行者の安全のためにも、自転車専用道路を設置すべきです。

**【市長】**

平塚市は自転車の利用者数がとても多いまちです。現在、自転車専用道路についても、可能な場所から造っていくことを計画しています。

また、市民の皆様には御負担をおかけしましたが、ここで駅前の自転車対策を行いました。防災対策の観点からも、自転車が二重、三重に駐輪され、災害が起きた時の被害が拡大して避難にも支障が出てしまう状況を改善させていただきました。4月には、西口に自転車が約2,500台、バイクが75台、レンタサイクルが400台止められる新しい駐輪場が完成します。この駐輪場の完成によって駅北側の駐輪場整備にも一定の目途がつき、今後は駅南側の駐輪場整備が課題となります。また、中心商店街については、パールロードにおける2時間までの一時停車には、様々な御意見をいただいておりますので、今後も商店会や平塚警察署などの関係機関と連携して検討を続けていきます。

自転車対策はくらし安全課にて担当してきましたが、4月の組織改正で交通政策課をつくります。自転車を含めた交通対策を行う部署が新設されます。4月以降も、地域の皆様と連携して地域を守る交通対策を行っていただければありがたいと考えます。

**【参加者】**

湘南ベルマーレが J 1 昇格を果たし、大変うれしく思っています。しかし、スタジアムが近いこの大原地区の交通量が増えることが心配です。駐車場や交通整備の対策が行われ、安全を確保してほしいです。

**【市長】**

私も湘南ベルマーレの J 1 昇格は本当にうれしかったです。市民の皆様にご支援をいただいていることに感謝いたします。

先日、湘南ベルマーレがホームとする 7 市 3 町の首長に集ってもらい、湘南ベルマーレへの支援を考えました。運営体制を確立するために、定員 17,500 人の ShonanBMW スタジアム平塚には、毎試合満員の観客が集まってほしいです。そのためにも、地元の皆様の御迷惑にならないよう、送迎バスの運行によって車の数を減らすことや警察との連携による交通整理、駐車場の確保を検討しています。

**【参加者】**

平塚スカイハイツから湯乃蔵ガーデンに続く、大原地区のメインの道路の歩道は途中で切れてしまいます。横断歩道も遠いため非常に危険です。歩道を延長してほしいです。

**担当課回答** (集会後、次のとおり担当課に確認しました。)

幹道 4 号 (萩原・八幡線) の湯乃蔵ガーデンより東側については、これまで地権者と用地交渉を重ねましたが、用地買収に至っていません。用地買収の目途がつかましたら、歩道を含めた県道 606 号 (大島明石) との交差点改修を、神奈川県と協議して事業を進めたいと考えています。

(事務担当は道路整備課道路計画担当)

## ⑥ 経済について

### 【参加者】

以前、二宮町に住んでいましたが、外から見る平塚市は活気にあふれていました。しかし、最近はまちが寂れてしまっている気がします。大手企業の撤退やスーパーマーケットの閉店など、元気がなくなっている気がします。大原地区を含め、平塚市に色々な活気生まれるよう期待しています。

### 【市長】

平塚市はバランス良く産業が発達したまちです。商業や工業は県内5番目の規模、米の生産高は県内一です。漁業も盛んで、観光では七夕まつりがあります。

確かに、平塚市だけでなく、商業は郊外型になる傾向です。平塚市も、日産車体第一地区の撤退による変革期を迎えました。今こそ、経済活性化への対策が必要です。現在も、固定資産税の減免や融資制度、中小企業の起業への補助などの対策を実施しています。経済対策とは、すぐに効果が表れるものでないため、今後も地道な対策を継続する必要があります。

具体的な日産車体跡地の計画では、日産車体からは、第一地区跡地に商業施設と住宅地、工業地帯、医療機能をつくるお話がありました。三井不動産が開発を行い、商業施設として「ららぽーと」を建設する提案でした。平塚市のまちの活性化のために、新しくできるものと中心街との連携が生まれるよう考えていきます。また、さがみ縦貫道路が平成26年度に完成します。完成後は、首都圏を通らずに、東京都や埼玉県、千葉県の内陸に迎えます。さがみ縦貫道路の完成は物流の流れを変える可能性があります。国道134号は平成26年度に4車線化が完成します。更に、平塚市の北の地域では20年来の計画、ツインシティ計画も進んでいます。道路インフラの整備によって、平塚市のまちは変わります。活性化が生まれ、様々な魅力が生まれる平塚市に多くの人が集まることが元気なまちの発展につながります。

### 【参加者】

今は、七夕まつりといえば、仙台市の方が有名です。寂しく思います。平塚市を代表するお祭りなので、もっと盛んになってほしいです。

### 【市長】

七夕まつりは今年で63回目です。私が就任した年は、東日本大震災の影響で中止という話がありました。しかし、七夕まつりは平塚市が誇る、中心街が焼け野原になった昭和26年の復興祭りから成長した大切な行事です。皆様の

御協力によって開催を続けることができました。今年は7月5、6、7日の3日間です。

これまで、行政がお金や職員を出してきたお祭りは、商工会議所が中心となり、民間企業や市民の皆様によるお祭りになってきました。昨年は500人を超えるボランティアの方に御協力いただきました。中心街の飾りも、各企業や市民の皆様に出していただいています。更に、結婚式の開催やマスコットも生まれました。これからも、七夕まつりが平塚市のシンボルとなり続けるよう努力し続けます。

## 7 市長によるまとめ

本日は、大原地区の問題や課題の御指摘をいただきました。

私は、地域のまちづくりには、その地域の皆様が問題や課題を認識して取り組んでいただく「地域の皆様が主役のまちづくり」が一番の理想だと考えます。決して、行政が行わないのではなく、行政は皆様の生活をお支えいたします。地域の皆様の視点や御意見を生かすことがとても大切です。景気対策や少子高齢化対策など、大原地区を含めた平塚市を取り巻く課題は多くあります。行政は真摯に対応を続けさせていただきます。今後も大原地区や平塚市のまちづくりに御自身の御意見や思いを持って臨んでいただければありがたいです。御支援、御尽力をお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 18件（参加者 14件 傍聴者 4件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	3名	4名	4名	5名	2名	0名

#### 性別

男性	10名
女性	7名
回答なし	1名

**質問1** 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	4名	2名	6名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	10名	1名	11名
市ホームページ	0名	1名	1名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問2** 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	8名	2名	10名
まあよかった	5名	1名	6名
どちらともいえない	1名	1名	2名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問3** 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

**回答** ・なし

**質問4** 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

**回答**

伝わった	4名
まあ伝わった	6名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	2名
伝わらなかった	1名
回答なし	1名

**質問5** 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

**回答** ・行政からの情報のコンパクト化について  
・自治会の自主性の尊重について

**質問6** 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

**回答** ・落合市長がとても丁寧に答えてくれて感激しました。  
・司会や事務局の対応が良かった。  
・現場の声を直接市長に聞いていただき、良かったです。  
・このような機会を増やしてほしい。  
・具体性に欠けているように思った。  
・市長の話と市の対応に矛盾がないようにしてほしい。  
・形だけに終わらず、実行に移してほしいです。  
・時間が短かった。  
・市のトップである市長の声を聞いて良かった。  
・普段気付かないことや市長の考えが聞ける貴重な体験でした。  
・これからの平塚市に期待しています。  
・非常に良い対話集会でした。  
・若い世代の話をメインに聞く集会があっても良いと思う。